

(様式 1-3)

福島県 (川内村) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 30 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	30	事業名	高塚山管理棟施設等改修工事		事業番号	(5)-41-1
交付団体	川内村		事業実施主体 (直接/間接)	川内村 (直接)		
総交付対象事業費	(2,455 (千円)) 51,597 (千円)		全体事業費	(2,455 (千円)) 51,597 (千円)		
帰還環境整備に関する目標						
<p>川内村の豊かな自然を堪能できる村民の憩いの場として、高塚山があげられる。この高原はこれまでに、頂上までの遊歩道の、管理棟施設 (電源設備、給排水設備を含む)、駐車場、オートキャンプ場などを整備してきたことにより、地元住民の憩いの場、集いの場として重宝されてきた。また、本村の村花である『サラサドウダン』が咲く 6 月初旬には毎年『ドウダン祭り』が開催され、多くの地元住民が参加し、多くの人で賑わいを見せた。更には、『ドウダン祭り』を含め、高塚山には多くの村外から来る方も多く、都市部との交流の場でもあった。</p> <p>現在これらの施設は東日本大震災の被害を受けたまま復旧されていないため、村外からはもちろんのこと、地元住民からの利用も極めて少なく、また『ドウダン祭り』も行うことが出来ない状態である。これらの施設を復旧することにより、今まで重宝されてきた憩いの場、集いの場を復活させ、帰村へつなげ、更には、交流人口の回復も図り、震災前の利用者水準を取り戻す。</p>						
事業概要						
本事業は管理棟及び下記設備において調査・設計を実施し、改修を要する設備について修理・改修を行う。						
改修予定箇所						
・ 水源→管理棟 (水源の堰 水路 調整柵)						
・ 電源設備 (風力発電機の撤去 太陽光発電機の設置)						
・ 管理棟 (配水管 滅菌器 塗装 砂濾し器 貯水槽 浄化槽 電気系統)						
・ キャンプ場 (炊事場)						
●第四次川内村総合計画						
『[Ⅲ]魅力と賑わいの生まれる村 (2) 商業・観光交流・生活サービス業の振興』						
P. 60 ②課題						
・ 川内村の観光については、何よりもまず、除染作業の実施徹底により、放射性物質の除去を図り放射線量の軽減策を講じることである。交流人口の増加を図りながら、帰村を促し村民が安心して暮らせる風景を取り戻すことであり、そのうえで風評被害を払しょくし、自然豊かな文化的な農村風景、恵みなどの資源を活かした体験型観光を図ることが重要となる。						
P. 61 ③背策の方向と具体的な内容						
・ 三大祭など、従来から川内村で行って来たイベントを復活し、観光客の集客の足がかりとする。						
●『川内村ひと・まち・しごと創生総合戦略』						
P. 25 戦略目標 2 帰村促進と転入促進で村に“ひと”を呼び込む						
・ ふるさとを体感できる滞在拠点と四季折々の魅力を盛り込んだ滞在・体験プログラムづくり						

当面の事業概要	
<平成 29 年度> (第 17 回) 調査・設計委託 <平成 30 年度> (第 20 回) 工事	
地域の帰還環境整備との関係	
<p>川内村にある、地元住民の集いの場、憩いの場として、いわなの郷、かわうちの湯と共に主要な場である高塚山の、管理棟を改修することで、震災前の環境に少しでも近づけ、郷土愛の喚起を図り、避難中の村民の帰村を促す。</p> <p>更には、村外との交流の場としての側面から、震災以前の交流人口の水準を取り戻し、定住者、移住者の増加に繋げる。</p>	
関連する事業の概要	

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	